

黄色い田んぼ

秋の田のかりほのいおのとまをあらみ
夜露濡れるソデを悲しむのでなく
夜を静かに黙想するような静寂

大事な稲刈りを明日に控えて
泊まり番する昔の人のように
辛いばかりでなく喜びもあったろう

秋の夜 清々しさが
心待ちにつながる時

黄色い田んぼ日差し受けて輝き
黄色でなくてまさに黄金色になり
その風景は壮大なひとときになる

すこし曇って透明な風が吹いて
トンボの羽時々きらりと輝く
曇った時穏やかに明るいじゅうたん

秋の風 透明さが
心待ちにつながる時